

連携医院のご紹介

今回は、安佐南区緑井で「住み慣れた自宅で入院と同じ医療の安心感」をお届けする、安佐在宅診療クリニックの森谷知恵院長にお話を伺いました。



森谷院長

安佐在宅診療クリニック

〒731-0103
広島市安佐南区緑井6丁目37-5
ドミール藤沢1F
電話/082-831-6306
院長/森谷 知恵
在宅療養支援診療



○開業されてから今までのことを教えてください。

安佐在宅診療クリニックは、平成19年に広島市安佐南区に開業し現在に至っております。広島市立安佐市民病院(現広島市立北部医療センター安佐市民病院)や広島赤十字・原爆病院、広島大学病院などで長年呼吸器専門医、アレルギー専門医として働いていました。気管切開・人工呼吸器や在宅酸素などが必要な慢性呼吸不全の患者さま、喘息、アレルギー疾患、肺がんなどの疼痛ケアが必要な患者さまを数多

く診てきました。在職中は、緩和ケアチームとして緩和ケアも実践してきました。自宅に退院したくてもなかなか帰れない方も多く診てきました。「在宅で診ることができたらいいのに」と思っていたのがきっかけで在宅医療専門のクリニックを開業し16年が経過しました。

○クリニックの特徴を教えてください。

いつでも患者さまの変化に対応できるよう、在宅訪問診療のみを行っています。外来受診が困難な患者さまに医療を提供できることを目的としています。現在、医師1名・看護師3名と事務職員にて日々の訪問診療を行っています。

○毎日の診療で大切にされていることや、やりがいは?

当院では、患者さまを「丁寧に診る」ことを心がけています。家の中で落ち着いて生活できるよう、生活全般を見ていくとともに、身体全体を診ています。状態を早く把握するため、血液検査などはその日のうちに結果を確認し投薬をするよう心がけています。検査結果の確認が遅れ、次回の訪問診療での薬剤調整になると状態の悪化につながってしまうことにもなります。在宅医療はチーム医療だと思っています。どういう想いでこの患者さまを診ているのか、どうしてこの薬を出したのかなどを共有していくことが必要です。訪問した後は訪問看護師やケアマネジャー、薬局などに紙面で情報提供をしています。口頭だとすべての人に上手く伝わらないことがあるからです。患者さまの家にも連絡帳で、今日の状態、行ったこと、今後予想されることなどを書面に残すようにしています。そうすればご家族やヘルパーさんも確認で

き、その時不在の方にも伝わると考えています。みんなが情報を共有することは、在宅医療を行う上でとても大事であると考えます。

○県病院はどんなところでですか。

県立広島病院は、遠方ではありませんが連携病院の一つです。臨床腫瘍科の篠崎先生やゲノム診療科の土井先生とは、以前から連携させていただきお世話になっております。今後も患者さまを紹介していただいた際は、真摯に対応させていただこうと考えています。

○最近のトピックスについて

開業したばかりの頃は、「在宅医療って何をやるの」と聞かれることも多かったことを記憶しています。いつでも対応できるようにしていますが、開業当時は夜間・休日などに患者さまや訪問看護師から連絡が入り、緊急往診することが多くありました。現在は、訪問看護ステーションスタッフのスキルアップのおかげで、緊急で往診することは減少しています。訪問診療にあたるすべての人のレベルアップを実感しています。神経難病等で呼吸器を装着した方や、在宅酸素療法を継続している方、癌末期の方などバックグラウンドは異なりますが、COVID-19の影響もあり、在宅の需要は増加傾向です。今後も丁寧に一人ひとりを診ていきたいと思っています。

【取材後記】

取材は診療訪問の合間に時間を取っていただきました。先生は、安佐南区、安佐北区において在宅医療専門で患者さまやご家族としっかりと向き合いながら、また、医療、福祉関係者などと連携し取り組まれていることが伺われました。丁寧に一人おひとりを熱心に診ておられることが取材を通じてわかりました。ありがとうございました。

もみじ



県立広島病院 ☎082-254-1818 (代)
〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

第176号
2023.10.1
発行



理念：患者さんの権利を尊重し、県民に信頼される病院をめざします。

看護師の特定行為について



◆特定行為とは

2025年に団塊の世代が75歳以上になり、国民の3人に一人が65歳以上、5人に一人が75歳以上になるといわれています。厚労省は医療提供の改革が必要と考え、その対策として特定行為に係る看護師の研修制度が導入されました。特定行為は、診療の補助であり、今まで医師が行っていた行為を「手順書」と呼ばれる包括的指示のもと、実践的な思考力と判断力、高度な知識と技術をもって研修を修了した看護師が行う行為のことです。当院では2022年7月より特定行為を開始し、現在2名(北尾剛明・西村将吾)の特定看護師が院内(主に救命救急センター)で活動を行っています。

◆看護師が特定行為を行うことのメリット

- 特定行為研修を受けた看護師が患者さんの状態を見極めることで、タイムリーな対応が可能
- 患者さんや家族の立場に立ったわかりやすい説明ができ、治療と生活の両面からの支援の促進に貢献できる

◆特定行為研修を受講した看護師と受講前の看護師ができる行為の比較 (当院例)

研修受講前 医師 呼吸器装着中、呼吸器の異常があれば連絡するよう看護師に指示	研修受講後 医師 呼吸器装着中、呼吸器の異常があれば、手順書により、呼吸器の設定を変更するよう特定看護師に指示	看護師 看護師 医師へ報告	看護師 看護師 看護師から報告を受け取る	医師 医師 病棟へ移動	医師 医師 呼吸器設定の変更を実施
研修受講前 看護師 呼吸状態の変化、異常を疑う		研修受講後 看護師 手順書に示された病状の範囲内、手順書により、自身の判断で呼吸器設定を変更	看護師 看護師 修了者の判断によりタイムリーな医療・看護を実現	看護師 看護師 実施した結果を医師に報告	

次ページに続きます→

県立広島病院からのお知らせ

10月のがんサロン

- 開催日時 令和5年10月18日(水) 14:00~15:00
- 場所 新東棟2階 研修室及びオンライン
- テーマ 『肺がん治療の最新技術』
- 講師 呼吸器外科 主任部長/片山 達也 医師
- 対象 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族 (当院受診歴不問)

申し込み方法・お問い合わせ

右の二次元コードが、下記のメールにて、お申込み下さい。



がん相談支援センター
☎082-256-3561
hphchiikirenkei@pref.hiroshima.lg.jp

当院の特定行為研修修了看護師育成のビジョン

【看護部】

県立広島病院の高度急性期医療の提供に貢献でき、医療・ケアと生活が一体化した体制強化を目指しています。また、地域と施設間の連携に対するリーダーシップ及び組織内における医療者間のタスクシフティング / シェアの拡大に寄与できる特定看護師を計画的に育成します。



当院の特定看護師バッジ

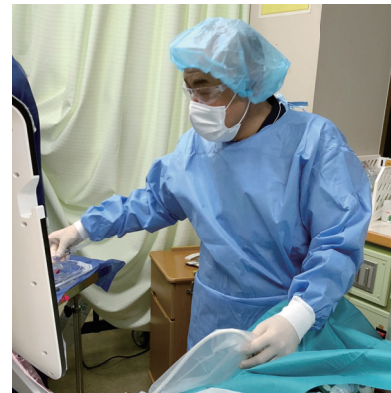
特定行為研修修了看護師の活動を通じての思い

特定行為を通して患者さんへ貢献したい

クリティカルケア認定看護師 / 西村 将吾

看護師特定行為の最大の利点は、リアルタイムに対応できることです。

「動脈からの採血（直接動脈穿刺法による採血）や「中心静脈カテーテル（末梢留置型中心静脈注射カテーテルの挿入）」が特定看護師により行えるようになっていきます。調子を崩されている患者さんは、採血や点滴が難しいことがあり、どうしても難しいときは医師に依頼して、動脈から採血や、中心静脈カテーテルを留置してもらいます。ただ、医師が病棟にいるとは限らず、医師が病棟に来るまで採血や点滴ができない状況が発生します。場合によっては急ぐ採血などは、何度も採血を依頼することもあります。医師に依頼して実施していた「動脈血からの採血や、中心静脈カテーテル挿入（末梢留置型）などが手順書により、特定看護師で行えるようになりました。しかし、特定看護師の数は少ないですが、多くの患者さんにリアルタイムに対応できるよう取り組んでいきます。



末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入する西村看護師

特定行為を通してスタッフにも貢献したい

クリティカルケア認定看護師 / 北尾 剛明

特定行為には、人工呼吸器の設定変更（侵襲的陽圧換気の設定の変更）という行為もあります。人工呼吸器の設定が患者さんに合っているか確認し、その都度設定変更を行います。患者さんの呼吸状態や採血の結果・人工呼吸器などに表示される数値を参考に、患者さんに合った呼吸器設定に変更していきます。人工呼吸器の設定を変更する場合には、周囲のスタッフと「なぜ設定の変更をするのか」を共有するようにしています。その効果もあり、最近では「呼吸器の設定合っていないような気がするんです」とスタッフからの相談を受け、設定変更をすることが多くなっています。

人工呼吸器を管理するスタッフとの連携や人材育成になっていると感じています。



人工呼吸器の設定・変更する北尾看護師

当院のツイッターで『産科通信』を発信しています！

西4病棟

2023年5月から、当院の公式X（旧名：ツイッター）で西4病棟産科スタッフによる産科の情報を定期的に発信しています。これまでにマタニティ相談変更のお知らせ、母体救命J-CIMELS講習会、出産後の祝い膳、出産された方への授乳クッションプレゼント、入院中に災害に備えての災害グッズなどを紹介してきました。今後もお役に立てる情報などを発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



外科医の独り言...no.144

— 英語耳 —

皆さんもすでにお気づきだと思いますが、広島市内に大勢の外国人観光客が戻ってきました。今のところ多くは欧米からの観光客のようですが、中国人の日本への団体旅行解禁により、これからは外国人観光客が増えそうです。

かつては私も頻りに海外で行われた学会に参加していました。少なくとも年一回はヨーロッパで開催される国際学会で発表し、ついでに有名な大学や病院を訪れて勉強させていただきました。もちろん出張費は自費ですが、この年1回のヨーロッパの学会出張が息抜きになり、帰国後の働く活力となっていました。ヨーロッパではどの国にもプロサッカーの国内リーグがあり、とにかく本場のサッカーを目の前で見たかったです。

2001年の秋、ベルギーのブリュッセルで開催された国際外科学会に、肝臓がんの手術のビデオを引っ提げて参加しました。実は、偶然というか運よく、ブリュッセルから列車で2時間のオランダのロッテルダムで、オランダサッカーリーグでは名門対決となる、アヤックス対フェイエノールトの試合があるという情報を出国前にキャッチしていました。そしてそのフェイエノールトには日本から小野伸二という当時若い有望な選手が移籍したばかりでした。元々オランダのサッカーが好きだった私は、ブリュッセルに着いてホテルには入らず、駅のコインロッカーに荷物預け、そのまま列車に乗ってオランダのロッテルダムを目指しました。とにかくオランダ人は背が高く、参りました。列車の中は満員でぎゅうぎゅう詰め、吊り輪にも手が届かずオランダ人に埋もれて列車の中でおぼれながらロッテルダム駅に着きました。

駅の男性用トイレの便器も高く、つま先立ちでやっと用を足してスタジアムに向かいました。もちろん入場チケットを持っていなかったためスタジアム前でダフ屋から高いチケットを買わされるはめになりました。当時も今と同様に私の英

会話力は貧弱で、おまけにダフ屋のおじさんはオランダ語しかしゃべれなかったため十分な価格交渉や文句も言えず、結局言い値（定価の5倍くらい）で買われました。とはいえ、あの小野伸二のオランダデビュー戦を生で観戦することができて、ビールを酔いと相まって興奮してスタジアムを後にしたことを覚えています。

前述したように私の英会話力は貧弱で、医師になってからも努力はしてきたつもりですが全然上達しませんでした。何とかしゃべることはできるのですが、聞き取り、リスニングはいけません。

さて、学会でのミッションは、肝臓がんの患者さんの手術をしたビデオを流しながら、こんなに手術が上手くいったのだぞと自慢することでした。しゃべるのは何とかできましたが、これまでの国際学会でもいざ質問タイムになると何を質問されているのか聞き取れなかったのです。聞き取れなければ質問に答えられません。聴力には問題ないのですが、聞いた英語が耳から脳に入らないのです。そしてこの時ブリュッセルでとった対策は、とにかく聴力も含めた五感を鋭くするということでした。発表前に昼食をとるために入ったレストランでビールと赤ワインを飲んで五感を研ぎ澄ませて発表に臨みました。アルコールのおかげで舌の回転は滑らかだったのですが、やはり英語が頭に入らず聞き取れなかった。「すみません、ゆっくりしゃべってください」とお願いして、やっと質問内容を理解することができました。

その後も英会話教材のCDを聞いたり、英語のラジオ放送を聴いたりと色々努力をしたつもりですが、どうも私の耳と脳は英語を聞き取れないようです。ところで最近では、ついに日本語も聞き取りにくくなってきました。

院長 / 板本 敏行



ご意見箱

サニタリーボックスについて

南7病棟の全ての女性トイレにサニタリーボックスを置いてほしい。



貴重なご意見をありがとうございました。

この度はご不便な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。南7病棟の女性トイレ4箇所のうち、2箇所にサニタリーボックスが設置されていなかったため、残り2箇所にも設置いたしました。今後とも患者さんが過ごしやすくなるように病棟環境の整備に配慮してまいります。